

# 明野地区協議会だより

発行：「学校の在り方」明野地区協議会  
問合せ：教育委員会学務課 ☎22-0181

「学校の在り方」明野地区協議会は、明野地区の学校の在り方について検討するため、本年8月10日、自治会・保護者・各団体の代表者で設立されました。明野地区は、モデル校として小中一貫教育に取り組んでいるところですが、それをさらに進めた【義務教育学校】の設置について検討するため、地域全体で情報と課題を共有しながら、より良い学校を目指していきたいと思えます。

## 第1回「学校の在り方」明野地区協議会を開催しました

8月10日、「学校の在り方」明野地区協議会を設立し、第1回協議会を開催しました。明野地区の状況を確認し、ちらしを配布して地域の皆さんと情報共有することを決定しました。

委員の皆さんは、児童数が減っていることを常々心配していたようで、中には「子どもを人数の少ない学校に入学させたくない、他市に転出してしまう事例が出てくるのではないかと危機感を抱いている方もいました。

## 先進地を視察しました

8月21日、土浦市の新治学園義務教育学校を視察してきました。新治学園は、藤沢小・斗利出小・山ノ荘小・新治中を再編し、今年4月に開校した新しい学校です。新治学園開校に向けてどのように協議・検討を進めたのか、義務教育学校としてどのような取り組みをしているのかなど、市の担当者や教頭先生からご説明いただきました。

この視察により、義務教育学校のイメージや可能性を共有することができましたので、今後の検討に生かしていきたいと思えます。

### 【新治学園の協議・検討の進め方】

地域住民代表・PTA代表・教職員代表で『開校準備協議会』を設立し、その中に検討部会として『総務部会』・『PTA部会』・『学校運営部会』を設置して課題調整や協議・検討を行った。

### 【新治学園の主な取組み】

5年生から、教科ごとに先生が変わる教科担任制を導入したり、希望者は部活動（週2回）への参加を認めたりしている。これにより、中学進級時の環境の変化を緩やかにしている。



## 明野地区で説明会を開催しました

9月27日、明野いきがいセンターで説明会を開催し、保護者や地域住民の方36名にご参加いただきました。

教育委員会からは、小中一貫教育や明野地区の現状について説明がありました。少子化により児童数が減少しており、明野地区の5小学校すべてが小規模校となっております。今後さらに児童数の減少が続く見込みのようです。『今』は小規模校のメリットを活かした学校でも、少子化が進んだ『将来』は小規模校のデメリットが大きくなり教育環境が悪化してしまうのではないかと危惧する状況がうかがえました。

教育環境改善の方法の一つとして『義務教育学校』の開設について説明がありました。そのためには課題調整の期間が必要であり、少子化が進んだ将来に対応するためには、今から検討を始めなくてはならないとのことで、協議会の委員の方々もそのように考えました。

## 第2回・第3回「学校の在り方」明野地区協議会を開催しました

10月31日に第2回協議会を、12月13日に第3回協議会を開催しました。これまで明野地区の学校の在り方について検討を進めてきましたが、早急に義務教育学校を設置すべきとの声が多く聞かれました。今後も教育委員会等との情報共有を図りながら、さらなる検討を進めてまいります。

## 義務教育学校・明野地区準備委員会に再編されます

### 『施設一体型義務教育学校の平成36年4月開校を目指す』

市が方針を打ち出して、具体的な検討を進めることになりました。これからは、学校名や通学路・スクールバスなど、開校に向けて調整が必要なことを協議して決めていくこととなります。

そこで、現在の「学校の在り方」明野地区協議会の委員に、教職員を加え、また保護者の委員を増やして、『義務教育学校・明野地区準備委員会』として再編することになりました。この準備委員会の設置は年度内を目指し、併せて専門部会を設け、課題等の協議・検討を行ってまいります。また、新年度からは必要な施設の設計が行われることとなります。

#### 【今後調整が必要な主な課題等】

学校名・校歌・校章、制服・体操服、PTA組織・活動、通学路、スクールバスの運行、学校運営方針・教育課程など



今後も準備委員会だより等を発行し、『義務教育学校・明野地区準備委員会』での協議・検討の状況など、進捗状況を随時ご報告いたします。明野地区の子どもたちの教育環境が、より良いものになるよう取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。